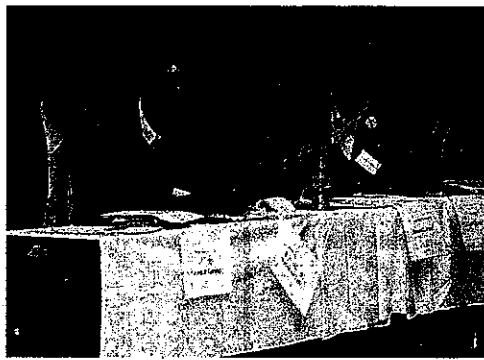


伊達でICRP会議

放射線防護の専門家組織、国際放射線防護委員会(ICRP)が、東京電力福島第一原発事故からの復興に向け、地元関係者から意見を聞き、対策を検討する会議が25日、伊達市で始まった。初日は県内でも先進的な除染作業を続ける一方、風評被害を含め農業に深刻な影響が出ている同市の現状が報告された。会議は2日間の日程で、26日は本県の課題解決に向けた対策案を政府に提言する。

本県風評被害からの脱却

安全対策詳細に発信



「復興には被災地と被災地でない地域がともに歩むことが必要」と訴えるロシャル氏(中央)



海外の研究者と農林水産業の対策などを話し合う参加者

「安全対策を実施して環境を整える必要がある」と指摘。チェルノブイリ原発事故被災国のベラルーシで、事故から25年の努力で年間放射線量を0.5ミリシーベルトまで低減させた地域に対してもいまだに風評被害がある実態を紹介した上で、「対策に基づき達成した安全を」

「待っただけでは進まない」
仁志田昇司伊達市長は、放射線量を低減する除染について「待っているだけでは進まない。東電や政府がやるべきだ」との考えはあるが、今は自主的な除染が必要だ」とし、雪解け後に除染支援センターを中心にした支援を強化し、急ピッチで居住空間の除染を進める考えを示した。

伊達市長 居住空間除染急ぐ
「待っただけでは進まない」
仁志田昇司伊達市長は、放射線量を低減する除染について「待っているだけでは進まない。東電や政府がやるべきだ」との考えはあるが、今は自主的な除染が必要だ」とし、雪解け後に除染支援センターを中心にした支援を強化し、急ピッチで居住空間の除染を進める考えを示した。

継続して訴えていくことが重要」とした。
ロシャル氏は会議後、福島民友新聞社の取材に対し「安全だ」とたまた言っても安心にならない。実施した安全対策の詳細を説明して積極的に発信する必要があり」と語った。また「何よりも福島県は県民が生活している地域と訴えるべきだ」とした。

細野環境相と会談
細野豪志環境相・原発事故対策相は26日、県庁で佐藤雄平知事と会談する。同日、双葉町。町長に対し、中間貯蔵施設の在り方について政府の考えを提示し、意見交換した内容について報告する。

「復興には被災地と被災地でない地域がともに歩むことが必要」と訴えるロシャル氏(中央)

公開、透明性確保を 政府事故調の国際会議

政府の東京電力福島第一原発事故調査・検証委員会(委員長、洋太郎東京大名教授)は、25日、米原子力規制委員会との国際会議を開催する。

みと見通し
福島第一原発で事故発生から11年が経過し、事故調査・検証委員会が、事故原因を明らかにし、再発防止策を提言する。これ以降、11年間の調査結果を公表し、約400人から意見を聴く。

国際会議を
開催
「かたがて幾つもの省庁がばらばらに原子力に関わっている」として再回答を求めた。

力量に不安
「かたがて幾つもの省庁がばらばらに原子力に関わっている」として再回答を求めた。

地域維持へ米作付けを
現状報告 小国有志の会 必要訴え
特定避難勧奨地点の指定を受けると高線量地点が点在する伊達市雲山町小国地区の住民有志でつくる「放射能からきれいな小国を取り戻す会」の佐藤洋会長は「地域社会を維持するために12年産米の作付けは必要。住民の3割は作付けを迷っている。もし作付けを制限するのなら、その水田をどうするか、いつ解除するのかという丁寧な説明が不可欠だ」と訴えた。

双葉町長、第一原発視察へ
双葉町の井戸川克隆町長は25日、東京電力福島第一原発の視察を行う方針を示した。同日、いわき市で開かれた町政懇談会で明らかになった町政懇談会で明らかになった。時期は未定。

汚染水処理施設で10%程度の水漏れ
東京電力は25日、福島第一原発の汚染水処理施設にあるセシウム除去装置の配管の溶接部から10%程度の水漏れを確認したと発表した。汚染水から油分を取り除く途中の配管で、セシウムが除去される前の水が漏れた。装置を停止して上流の弁を閉めると、漏れも止まったという。

猪瀬氏に電話で申し入れ
東京支社長に電話で申し入れたが、中部電報部は詳細については「検討中で具体的にはお話しできない」と(広報部)としている。

農林水産業配慮を

生産維持の重要性指摘

放射線防護の専門家組織、国際放射線防護委員会（ICRP）は26日、伊達市で会合を開き、東京電力福島第一原発事故で被災した本県の復興に向けた提言をまとめた。提言は10項目で、除染など放射線量の低減対策の充実に加え、食の安全を確保しながら基幹産業である農林水産業に配慮した復興の道を歩むべきとした。提言は近く政府の関係省庁や県に伝えられる。

ICRP会議で本県復興提言



生産者に配慮した放射線防護対策などを議論するICRPの研究者ら

農林水産業については、生産活動そのものが地域社会の維持につながる重要な要素と指摘。土壌改良や測定機能の充実など食の安全対策を徹底しながら農林水産業の維持を図った、チェルノブイリ原発事故の教訓を踏まえ、復興の道を進むべきとした。

また、政府と県は住民の期待に応える放射線防護対策を展開すべきだとし、地域の中から放射線量低減や生活再建に向けた動きを展開するNPOなどの民間団体に協力を求めるべきだ。農林水産業者は、政府と県は住民の期待に応える放射線防護対策を展開すべきだとし、地域の中から放射線量低減や生活再建に向けた動きを展開するNPOなどの民間団体に協力を求めるべきだ。

の不徹底、原発事故についての政府発表と現実が懸け離れていることが根本にある」と指摘。信頼回復には除染や食品安全などの分野での戦略的な対策の実施が不可欠とした。

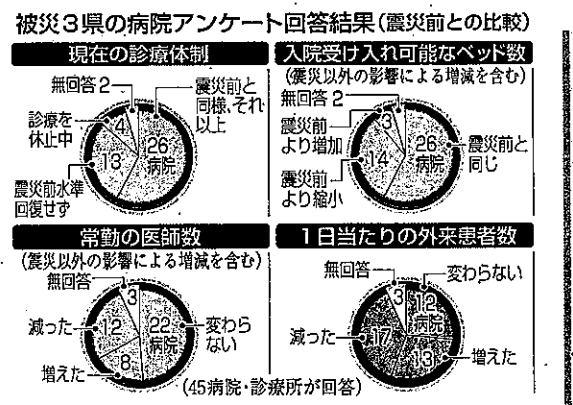
生活する場所の徹底的な環境改善を求めた。提言は、伊達市を中心に原発事故からの回復を目指す関係団体の現状報告を踏まえ、課題解決に向けて実施すべき基本姿勢としてまとめた。福島民友新聞社からは菊池克彦報道部長が議論に参加した。

初期の対応が政府不信の根
伊達市長が指摘
仁志田昇司伊達市長は「政府の放射線防護対策への不信は、東京電力福島第一原発事故当初の避難指示に展開すべき」と提言した。

防護基準 県の立場で
田中氏が国の対応批判
農除染アドバイザーを務める元原子力委員長代理の田中俊一放射線安全フォーラム副理事長は「国の放射線防護基準は、県民を中心に考えていない。県民は1年を経過しようとしていのに、将来の不安が拡大する」と国の対応を批判した。

住民が主体となって研究者らと対話し、自ら放射線防護対策を構築していく取り組みは、チェルノブイリ原発事故被災国のベラルーシで国際協力チームが実施したEurosOS（エートス）プロジェクトが知られている。安東さんは有志と本県での同様のプロジェクト推進を目指している。

道路封鎖の資材発注
政府「帰還困難区域」境界で
政府は、3月末をめどに材調達を大手セネコンに発注する警戒、計画的避難区域の見直しに合せて、立ち入り制限される年間被ばく線量50mSvを超える「帰還困難区域」の境界となる道路をバリケードで封鎖する。26日までに、封鎖には、通行に当たらざる車両などが通行する主要幹線については、通行に支障がないよう、開閉可能な方式で封鎖する。建設資材は、東日本が、通行量が少なく、の進入が必要ないと判断した。避難指示解除準備区域や防護指図を講じている所は対象市町村と協議する。



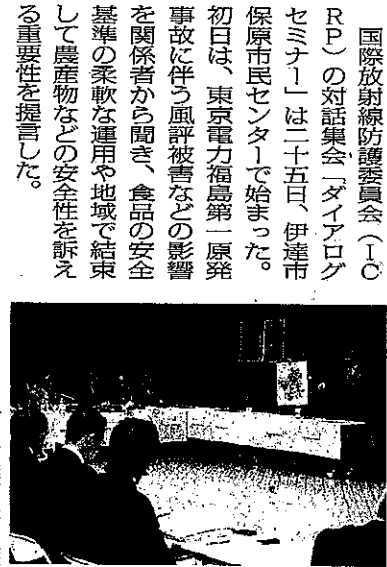
「病院もう持たない」
被災3県沿岸部アンケート
「病院はもう持たない」。は4300人いた住民が、従来の深刻な医師・看護師不足に加え、地域住民の流亡による経営難に直面するとして再開、プレハブの本県、宮城、岩手3県沿岸部の病院。共同通信のアンケートには、加速する。医療過疎」と向き合う現場の悲鳴な叫びが寄せられた。「一面に本記」
津波で壊滅的な被害を受けた宮城県石巻市雄勝地区
「診療所は氷点下になる寒さが大変」と厳しさを調した。
震災後いったん常勤医師が不足した。

まる疾患リスク
胃、十二指腸潰瘍1.5倍に
胃潰瘍、高血圧、不眠……。で、胃潰瘍や十二指腸潰瘍東日本大震災の被災地では、の発生数が前年同期比1.5倍に急激な環境の変化や長引く避難生活のストレスなどが原因とされる。原因とされるロリ菌や非

城の基幹病院調査
血圧が増えているとの研究結果もある。
地域での活動や仕事など、体を動かす機会が減ったことによる悪影響も出てくる。石巻赤十字病院などが昨年8月からことし1月に石巻市内の仮設住宅で暮らす高齢者を中心に行った調査では、408人のうち42人(8.4%)に静脈血全凝固症(こagulatio)

伊達で国際放射線防護委対話集会

市民生活の現状報告



原発事故の影響を説明する仁志田市長(右奥)

国際放射線防護委員会(IORP)の対話集会「ダイアログセミナー」は二十五日、伊達市保原市民センターで始まった。初日は、東京電力福島第一原発事故に伴う風評被害などの影響を関係者から聞き、食品の安全基準の柔軟な運用や地域で結束して農産物などの安全性を訴える重要性を提言した。

きょう最終日 提言まとめ

原発事故で大きな影響を受けている市民の生活を改善する目的で、丹羽太真京都大名、関の關係者、仁志田昇

司伊達市長、農業、医療などに携わる市民ら合わせて約百人が参加した。

仁志田市長は「原発事故が国や東電による類株」

「議決権を簡単に追加取得できる種類株」の三種類を組み合わせて出資する。当初の議決権取得は48%

の程度にとどめるが、リストラの進展が遅い場合、即時に議決権を多数追加し過半数を掌握。取締役の解任権などを行使できるようにする。

これに対し、枝野幸男経産相らは「当初から50%超の議決権取得が不可欠」と主張。調整は難航が避けられない。政府は「美質国有化に向け、勝俣恒

人災という意識を払拭(ふっしょく)しなければ除染は進まない」と述べ、除染活動には市民自身が主体的に取り組む必要性を強調した。

「生産者と消費者を結ぶ」のテーマでは、地元の農家やJA関係者が果樹の除染に大きな努力がかかることを訴え、食品の安全基準の厳格化に対する不安も語った。IORP委員でフランス放射線防護、核安全研究所長

食品基準の柔軟運用 安全性への訴え重要

伊達市長は「原発事故で大きな影響を受けている市民の生活を改善する目的で、丹羽太真京都大名、関の關係者、仁志田昇

司伊達市長、農業、医療などに携わる市民ら合わせて約百人が参加した。

仁志田市長は「原発事故が国や東電による類株」

「議決権を簡単に追加取得できる種類株」の三種類を組み合わせて出資する。当初の議決権取得は48%

の程度にとどめるが、リストラの進展が遅い場合、即時に議決権を多数追加し過半数を掌握。取締役の解任権などを行使できるようにする。

これに対し、枝野幸男経産相らは「当初から50%超の議決権取得が不可欠」と主張。調整は難航が避けられない。政府は「美質国有化に向け、勝俣恒

人災という意識を払拭(ふっしょく)しなければ除染は進まない」と述べ、除染活動には市民自身が主体的に取り組む必要性を強調した。

「生産者と消費者を結ぶ」のテーマでは、地元の農家やJA関係者が果樹の除染に大きな努力がかかることを訴え、食品の安全基準の厳格化に対する不安も語った。IORP委員でフランス放射線防護、核安全研究所長

に要望しているが、仮に作付け制限を受けた場合、水田の維持対策として検討していることを明らかにした。

24年産米作付け制限の場合 試験栽培で水田維持

伊達市

伊達市は、市内の一部地域の水田で平成二十四年産米の作付けが制限された場合、制限

地域の水田で試験栽培し、放射性物質がイネに吸収されるのを防ぐ方策などを調べる。仁

志田市長が二十五日のダイアログセミナーで示した。市は全地域での作付けを農林水産省

のケースとなる関西電力大飯3、4号機(福井県)の審査を終え、原子力安全委員会の確認を受ける段階に入った。

だが班目春樹委員長は突如「一次だけでは安全確認が不十分」と表明、安全評価の意義に疑念を残した。政府は「再稼働は一次評価後に政治判断」として従来の方針を変えていないが、福井県は不信を募らせている。

▼二次はゼロ 「約束を守れ。きちんと伝えるのが保安院の責任でしょう」。二十一日に開かれた原子力安全委員会の検討会。審査結果を説明する保安院の担当者、傍聴者から激しいやじが飛んだ。

安全評価は、一次評価のほか、一部の委員は、二次評価が提出されないまま一次評価の審査が進むことを問題視し、そうした意見があることを安全委に伝えるよう求めた。

東京電力福島第一原発事故後、停止中の原発が再稼働する場合の条件として政府が導入した安全評価(ストレステスト)の一次評価。経済産業省原子力安全・保安院は最初のケースとなる関西電力大飯

の審査を終え、原子力安全委員会の確認を受ける段階に入った。

だが班目春樹委員長は突如「一次だけでは安全確認が不十分」と表明、安全評価の意義に疑念を残した。政府は「再稼働は一次評価後に政治判断」として従来の方針を変えていないが、福井県は不信を募らせている。

▼二次はゼロ 「約束を守れ。きちんと伝えるのが保安院の責任でしょう」。二十一日に開かれた原子力安全委員会の検討会。審査結果を説明する保安院の担当者、傍聴者から激しいやじが飛んだ。

安全評価は、一次評価のほか、一部の委員は、二次評価が提出されないまま一次評価の審査が進むことを問題視し、そうした意見があることを安全委に伝えるよう求めた。

だが二十一日の検討会で、保安院の担当者はそれに触れず、怒罵が飛び交う中、会議は予定より三十分早く終了した。

▼検討の深さ 一次評価は、想定を超える地震や津波に対し、安全上重要な施設や機器が設計上どの程度の余裕を持つかを確認。二次評価は、その他の施設や機器も含め、設計上の余裕を超えて実際にどのまで耐えられるかを調べる。

保安院によると、一次では炉心損傷を起さない対策がどこまでできているかを評価。二次では損傷した後の格納容器の健全性なども検討する。

こうした点を考えたのか、班目氏は二十日、記者会見で「一次と二次はセット。二次は検討の深さがたいへん違う。

国の議決権当初50%未満 改革遅れれば経営掌握

東電出資で 政府 案

東京電力への公的資金投入をめぐり、国による東電の議決権の取得率を当初50%未満とし、段階的に引き上げる案が政府内に浮上していることが二十五日、明らかになった。

議決権の追加取得案、項などを加え、東電の改革が進まない場合、政府の原子力損害賠償

新たな政府案では、機構が「議決権ありの株」「議決権なしの種

類株」に議決権を簡単に追加取得できる種類株の三種類を組み合わせて出資する。当初の議決権取得は48%

の程度にとどめるが、リストラの進展が遅い場合、即時に議決権を多数追加し過半数を掌握。取締役の解任権などを行使できるようにする。

これに対し、枝野幸男経産相らは「当初から50%超の議決権取得が不可欠」と主張。調整は難航が避けられない。政府は「美質国有化に向け、勝俣恒

人災という意識を払拭(ふっしょく)しなければ除染は進まない」と述べ、除染活動には市民自身が主体的に取り組む必要性を強調した。

「生産者と消費者を結ぶ」のテーマでは、地元の農家やJA関係者が果樹の除染に大きな努力がかかることを訴え、食品の安全基準の厳格化に対する不安も語った。IORP委員でフランス放射線防護、核安全研究所長

に要望しているが、仮に作付け制限を受けた場合、水田の維持対策として検討していることを明らかにした。

だが二十一日の検討会で、保安院の担当者はそれに触れず、怒罵が飛び交う中、会議は予定より三十分早く終了した。



ムに対するサイバー攻撃側とそれを防ぐ側について、外部からU

い「担当者」とい

「美質国有化に向け、勝俣恒

調整は難航が避けられない。政府は「美質

人災という意識を払拭(ふっしょく)しなければ除染は進まない」と述べ、除染活動には市民自身が主体的に取り組む必要性を強調した。

「生産者と消費者を結ぶ」のテーマでは、地元の農家やJA関係者が果樹の除染に大きな努力がかかることを訴え、食品の安全基準の厳格化に対する不安も語った。IORP委員でフランス放射線防護、核安全研究所長

に要望しているが、仮に作付け制限を受けた場合、水田の維持対策として検討していることを明らかにした。

だが二十一日の検討会で、保安院の担当者はそれに触れず、怒罵が飛び交う中、会議は予定より三十分早く終了した。

▼検討の深さ 一次評価は、想定を超える地震や津波に対し、安全上重要な施設や機器が設計上どの程度の余裕を持つかを確認。二次評価は、その他の施設や機器も含め、設計上の余裕を超えて実際にどのまで耐えられるかを調べる。

政府保有の議決権を速やかに50%超に引き上げ、支配力を強める。東電の経営権を掌握し、たい経済産業省と、過度な関与による財政負担増を懸念する財務省の間に異論があるため、妥協案として検討されている。

新たな政府案では、機構が「議決権ありの株」「議決権なしの種

類株」に議決権を簡単に追加取得できる種類株の三種類を組み合わせて出資する。当初の議決権取得は48%

の程度にとどめるが、リストラの進展が遅い場合、即時に議決権を多数追加し過半数を掌握。取締役の解任権などを行使できるようにする。

これに対し、枝野幸男経産相らは「当初から50%超の議決権取得が不可欠」と主張。調整は難航が避けられない。政府は「美質

人災という意識を払拭(ふっしょく)しなければ除染は進まない」と述べ、除染活動には市民自身が主体的に取り組む必要性を強調した。

「生産者と消費者を結ぶ」のテーマでは、地元の農家やJA関係者が果樹の除染に大きな努力がかかることを訴え、食品の安全基準の厳格化に対する不安も語った。IORP委員でフランス放射線防護、核安全研究所長

に要望しているが、仮に作付け制限を受けた場合、水田の維持対策として検討していることを明らかにした。

だが二十一日の検討会で、保安院の担当者はそれに触れず、怒罵が飛び交う中、会議は予定より三十分早く終了した。

▼検討の深さ 一次評価は、想定を超える地震や津波に対し、安全上重要な施設や機器が設計上どの程度の余裕を持つかを確認。二次評価は、その他の施設や機器も含め、設計上の余裕を超えて実際にどのまで耐えられるかを調べる。



野田佳彦首相は二十五日、東日本大震災で親を亡くした遺児を支援するために結成された、サッカーの日本女子ユース東北選抜チームの選手らと公邸で面会した。「若い世代が立ち上がったのは大変心強い」と激励した。

遠征を前に 首相と面会 宮城県石巻市の実家が津波で流された常盤木学園高校二年、八幡あすか(一七)は「お

長「一次だけでは不十分」 後に政治判断」と政府方針

だが二十一日の検討会で、保安院の担当者はそれに触れず、怒罵が飛び交う中、会議は予定より三十分早く終了した。

放射能対策を発信、住民との対話継続

政府と県への提言集約

伊達 達 集 会

東京電力福島第一原発事故の影響を受けた国際放射線防護委員会（ICRP）の対話集會「タイアログセミナー」の最終日は二十六日、伊達市保原町のスカイパレスで開かれ、政府と県への提言をまとめた。地域で行った放射能対策の内容や成果を情報発信し、住民との対話を継続させることが重要...

県が設けた「除染情報プラザ」は「コミュニティの自助努力や個人の除染活動を支援する上で有効的だ」との論点をまとめた。ICRPはこうした論点を踏まえ、「環境保全・回復に向けては農業の維持が重要」とし、「農家は安全な食品を生産するために努



ICRPの提言について説明するロジャール氏



集会で意見を述べる仁志田伊達市長（左）

その上で①人々の受け止め方が重要で、国や県は放射線量の測定値を提供し、その解釈などの情報を詳しく説明することが大切②子どもの健康を優先させる③親にも正確な情報を提供する④誰でも線量測定や食品分析ができる体制を整える⑤地域ごとに行っている対

話集会には、丹羽 大貫京都大名舎教授らICRPの委員と事務局員、ベラルーシなどの国際研究機関の関係者、報道関係者、

「ASEAN 4月に被災地を訪問」 経済相ら 供給網強化協議

「水漏れの配管交換 福島第一の処理施設」 東電は取り出された配管を詳しく調べ、原子炉への注水に影響はなかった。

「人間の鎖」 70人が脱原発訴 日本原子力発電東第二原発（茨城県東村）の再稼働中止と炉を求めた市民グループのメンバーら約七人が二十六日、「人間の鎖」で同原発の敷を取り囲み「さようら原発」と訴えた。

ASEAN 4月に被災地を訪問 経済相ら 供給網強化協議

水漏れの配管交換 福島第一の処理施設

「人間の鎖」 70人が脱原発訴

日本を創る

震災後論

日本人は自然と親しんできた民族です。私の言葉で言うと、欧米はものごとを決する「対物」主義。そこから自然科学が生まれ、自然を克服するといふ考え方も出てくる。それに対して日本、東洋は、ものごと自然に即して「人」の調和を重んじます。

金子 兜太さん

の生活を築き上げていると安易に思ってきた。私自身が自然への畏れを本意の意味では知らなかった、そのことに気が付かれたのです。私には俳人です。自然への親しみは俳句の土台になってきました。しかし本意の俳人にはやはり自然への畏れが影で写っていました。

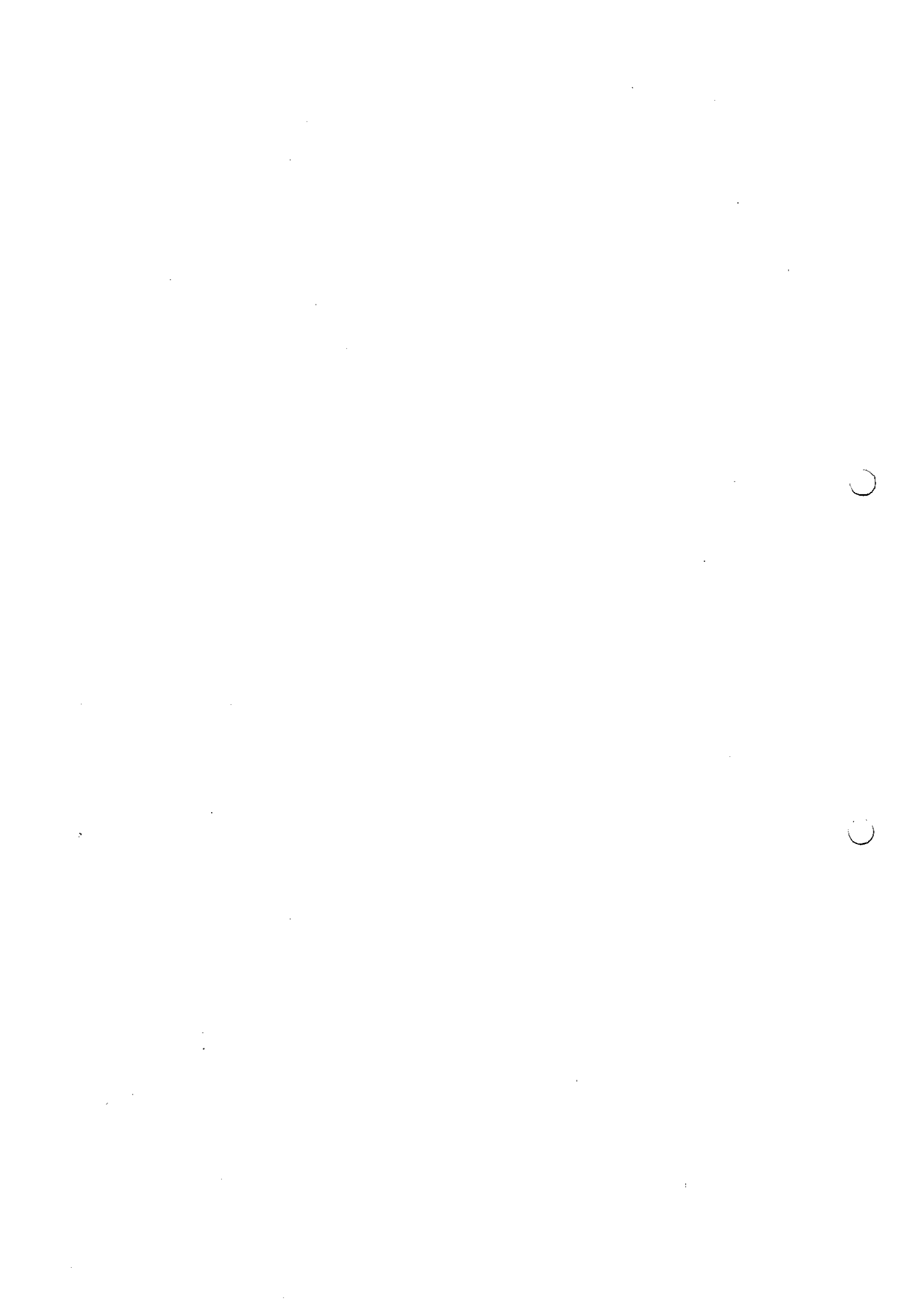
親しみと同時に畏れを

たてて感じるの、現実を体の中で消化し、ひとつの映像にまとめていくことの大切さ。その映像化の過程でも、やはり畏れが必要だと痛感しました。畏れのな

「ASEAN 4月に被災地を訪問」 経済相ら 供給網強化協議

「水漏れの配管交換 福島第一の処理施設」

「人間の鎖」 70人が脱原発訴



食品中セシウム新基準値

食品中の放射性セシウムの新基準値を話し合う厚生労働省の薬事・食品衛生審議会が24日開かれ、魚や野菜など「一般食品」の1kg当たり100ベクレルなど、現行の暫定基準値から4分の1の20分の1に大幅に厳格化する内容が正式に決まった。コメや牛肉、加工食品など一部を除き4月1日から適用されるが、各市町村は新たな基準値に対応するための測定器や人員不足を心配しており、検査態勢の構築を急ぐ。中には放射性セシウムが吸着しやすい栽培法の検討を始めた市町村も出てきた。【2面に関連記事】

4月厳格化 正式決定

測定器や人員不足

新基準値の適用を前に、西郷村は大豆や小豆など、含まれる放射性セシウムを独自に検査。その結果、100ベクレル以上が検出されたケースもあったという。このため、村はカリウムを含んだ肥料を使用し、セシウムを吸着しにくい状態での栽培を検討している。

また、井戸水の放射性物質を検査している白河市では、水質基準値が1kg当たり計47台の装置を配備する。



食品の検査に使用する測定器。福島市職員が操作している。

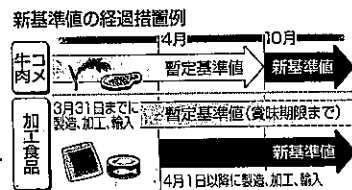
「マニュアル早く示して」

新基準値の採用により、市民の食品の放射性物質への関心はさらに高まる。二本松市は簡易測定器6台で、市民が持ち込む自家消費産物などを測定しているが、検査態勢が十分でないため、簡易測定器4台、ゲルマニウム半導体検出器1台を、増設。国、県から簡易測定器54台が貸与されるため、学校や市施設などに測定器を設置、臨時職員約50人を雇用して測定態勢を強化する。担当者は「新基準値が適用されると測定検体が増えるかもしれない。万全の態勢で備えたい」と話した。

伊達市は、市役所の総合支所など5カ所に簡易型の放射性物質測定器を1〜3台ずつ設置。市は「新年度

食品中の放射性セシウムの新基準値(単位はベクレル/kg)

食品群	暫定基準値	食品群	新基準値
野菜類	500	一般食品	100
果実類	500	牛乳	50
穀類	500	乳児用食品	50
肉類	200	飲料水	10
加工食品	200		



米山口組に経済制裁

国際的な組織犯罪関与

【ワシントン共同】オバマ米国内に保有する資産を「にわたる深刻な国際犯罪」マ米政権は23日、薬物の密輸、賭博などに関与していると非難。日輪や人身売買など国際的な個人や企業との取引を禁止。本政府とも連携して対策を

大統領令初適用

原発作業員の

男性

定した。遺族代理人の大澤昭夫弁護士が明らかにした。大橋弁護士によると、認定理由は「深夜から早朝に

虚偽報告書で検事聴取

小沢元代表公判立件、処分を検討

資金管理団体「陸山会」の収支報告書虚偽記載事件で強制起訴された民主元代表小沢一郎被告(69)の元秘書石川知裕衆院議員(38)を取り調べた田代検事(45)は現調地検に事実と異なる報告書を作成した問題で、検察当局が田代検事から事情聴取を始め、2010年5月の再調取で作成された。特捜部長に提出後、検察審査会にも

送付され、元代表を起訴すべきだとした。度目の判決の根拠の一つになった。報告書には、石川議員が承を認めた理由として「検事から『おそくをくく』とすることをし、選挙民を裏切ることになる』と言われたことが効いた」などの記載があったが、石川議員の隠し録音記録とそれらのコメント。2等陸曹は東日

落雪で只見線立ち往生 3時間半

24日午前7時15分ごろ、金山町水沼字上田のJR只見線水沼中川-会津水沼駅間で、線路側面の雪が高さ約2メートル、長さ約20メートルにわたって線路に落ち、落ちた雪の塊に上り普通列車が突っ込んだ。JR只見線は、除雪作業と安全点検のため、会津川口-会津宮下駅間で一時運転を見合わせた。乗客1人と乗員2人にけがはなかった。JR東日本によると、この列車は上りの2本目で、開始は午前5時半すぎに現場付近を通過していた。2本目の運転士は雪の塊に気付いて急ブレーキをかけながら間に合わなかった。

社員らが除雪車などを使って雪を取り除き、同10時40分ごろに運転を再開した。約3時間半後に復旧したが、この影響で会津宮下-会津川口駅間は24日午前7時15分ごろから、約10時間わたりにわたって運転を見合わせ、上下線7本が運休した。上下線7本が運休した。約1500人に影響が出た。JR東日本によると、この列車は上りの2本目で、開始は午前5時半すぎに現場付近を通過していた。2本目の運転士は雪の塊に気付いて急ブレーキをかけながら間に合わなかった。

2等陸曹を懲戒免職

同僚から現金盗んだ疑い 陸上自衛隊那須駐屯地は24日、同僚隊員の財布から現金を盗んだとして、同駐屯地所属の第6特科連隊の2等陸曹男性(36)を懲戒免職にしたと発表した。処分は同日付け。懲戒隊は3月上旬にも盗みの疑いで書類送検する方針。

同駐屯地によると、2等陸曹は昨年7月7日、9月17日までの間、同駐屯地の施設内で4回にわたり、5人の同僚隊員の財布から現金計6万3千円を盗んだ。昨年9月20日に上司に申告、警務隊が捜査し、今年1月21日に摘発された。2等陸曹は盗み金欲しかったなどと認められているという。管轄する陸自第6師団長の日高政広陸将は「さらけ出した隊員の服務指導を徹底し、再発防止に万全を期す」とコメント。2等陸曹は東日

YUME CUP

ゆめごころカップ

喜多方 夢心酒造株式会社

故中村幸三氏 23日午前20日午前

大角さんは当時、元請けの東芝から4次下請けに当たる御前崎市の建設会社に勤務。昨年5月13日から福

本大震災の災害派遣で、警戒区域内や官公庁敷地内で行方不明者の捜索にも当たっていた。同駐屯地は免職処分を受けた2等陸曹にさしつかえを及ぼす必要がないとの判断で、2等陸曹の家族への配慮を理由に名前を公表しなかった。

斎藤被告を捜査した偽名保険証使った疑い オウム真理教元幹部の平田信被告(46)は津浦監獄で長年かま

